

---

# 企業が求めるゾンビ像。

雨水

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

企業が求めるゾンビ像。

### 【Nコード】

N71090

### 【作者名】

雨水

### 【あらすじ】

実践、新社会人ゾンビに贈る面接の心得！  
先輩ゾンビから新人ゾンビへのアドバイス。

(1) あなたは、どんなゾンビと働きたいですか？

企業がどんなゾンビを求めているか？この疑問に答えるには、少し視点を変えて考えてみましょう。あなたが採用する立場だったらどうしますか？あなたが一緒に働きたいと思うゾンビをまずは想像してください。この際、襲われるのが怖いから採用しないと人間の話は横においておきましょう。

- ・やる気のあるゾンビ。
- ・リーダーシップのあるゾンビ。
- ・行動力があるゾンビ。
- ・明るく、みんなを和ませてくれるゾンビ。
- ・みんなをまとめることができるゾンビ。
- ・嫌な事を進んでやってくれるゾンビ。
- ・どんな銃撃の中でも怯まないゾンビ。
- ・空気が読めるゾンビ。
- ・黙って他人の話が終わるのを辛抱強く待つてくれるゾンビ。

などなど、いろいろなタイプのゾンビがあるでしょう。いきなりで驚いているかもしれません、ゾンビを採用するということは簡単に言うと、企業にとって職場をよりよくするゾンビ、エネルギーをもたらしてくれるゾンビを求めているのです。

ここに書いた要素を全て持っている必要はありませんが、ひとつぐらいは自分にあてはまるものを見つけましょう。自分自身を客観的にみつめてみる、そこがスタートラインになります。

(2) ゾンビを社員寮に住まわせる企業の本音。

最近では、新人ゾンビを社員寮に住まわせる企業が増えています。話を聞くと、新人ゾンビに仲間意識との連帯感、そして上下関係や無闇に人を襲わないことを学ばせるためだそうです。ヨコとタテのゾンビ関係というのでしょうか、言い換えれば社会での人とゾンビのコミュニケーションの力をつけてほしいということなのです。死体時代の閉ざされた棺桶の中だけの世界でなく、せつかくゾンビになったのですから、広い世界で仲間のゾンビや美味しそうな人と触れ合いたいでしょう。新人ゾンビにとってお得意さんはたいいてい人間です、そういう人達と顔をつき合わせるにはコミュニケーションの力が欠かせません。

昨今、携帯電話やメールといった技術の進歩で「顔の見えないコミュニケーション」が普及していますが、やはり人とゾンビは顔を付き合わせるのが基本です。この考えの根底には「ゾンビが携帯電話やメールを使っても恐ろしくない、もしかしたらキーを押す指が無いかもしれない」との企業の本音が見え隠れします。つまり、裏を返せば企業は今、コミュニケーション力のあるゾンビを求めているのです。

では、ゾンビのコミュニケーション力とはなんなのでしょう？ 会話することで相手を理解し、自分の意思をきちんと伝えるだけでなく、呻き声や仕草といったからだ全体を使って相手に向き合う力と思いやる気持ちが必要です。この力は一日でできるものではありません、日々の積み重ねと鍛錬が必要です。

### (3) 面接。

企業の採用試験で一番重要になるのが面接です。なんといても直にあなたの体の状態をみるができるからです。そしてあなたは、一緒に働きたいと思えるゾンビなのか試される場でもあります。よく、面接マニュアルを暗記されているゾンビもいますが正解とは

言えません、ひとつの質問に対して答えはゾンビの数だけあつて当たり前です。また、企業もその違い、言い換えればみなさんの個性を探しているのです。面接で質問にすらすら答えられたとか、面接官の人間に襲い掛からなかったということより、自分らしく、自分の考えに矛盾なく面接ができることが重要なのです。面接官は「あなたらしさ」を見つけ理解しようとしているはずですよ。

(4) 志望理由は明確に。

死亡理由ではありませんのでご注意ください。「私は、やる(殺)気があります。」というゾンビはたくさんいますが、それは企業にとって「天気がいいですね」と同じレベルの言葉です。企業にとっては「やる(殺)気の具体化」を求めており、あなたがその企業に入ったところという風にしたい、こんなことを実現させたいという、企業に入ってからの可能性、貢献度や意外性の具体化を求めています。

(5) 最後に。

偶然に恵まれ、ある有名なゾンビにお会いすることができました。アメリカ映画の世界では知る人ぞ知るロメロゾンビさん(80歳)です。乾燥が進み半ばミイラ化した立ち姿の中に、威厳と誇りがにじみ出ている方です。その中で印象的だったひとつと言「ゾンビとして先輩に教えられたことを10年ひたすらやっているだけでは、単なる動く死体のままです。ゾンビの道を極めようと思えば、先輩に教えられたことに、自分なりの新しい工夫を付け加えないと本当のゾンビになれないんです」

新しいものを見つけることが本物、まさに企業が求めているのは「新しいゾンビの可能性を切り開いてほしい。あなたらしい新たなゾンビにチャレンジしてほしい」という行動力です。

それでは皆様が、生き生きと自分の全身を使い、難関を突破し企業の中で新しいゾンビとして大活躍することを期待しております。

(後書き)

ゾンビものを考えていると、何故か勝手に脳内世界を広げてしまい書いてしまいました。

今回は、年齢制限をつけないものを書いてみたくなってしまい、こうなりました…。

年齢制限の基準が難しいです>>>。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7109o/>

---

企業が求めるゾンビ像。

2010年11月12日20時38分発行